

令和6年5月31日

第1号

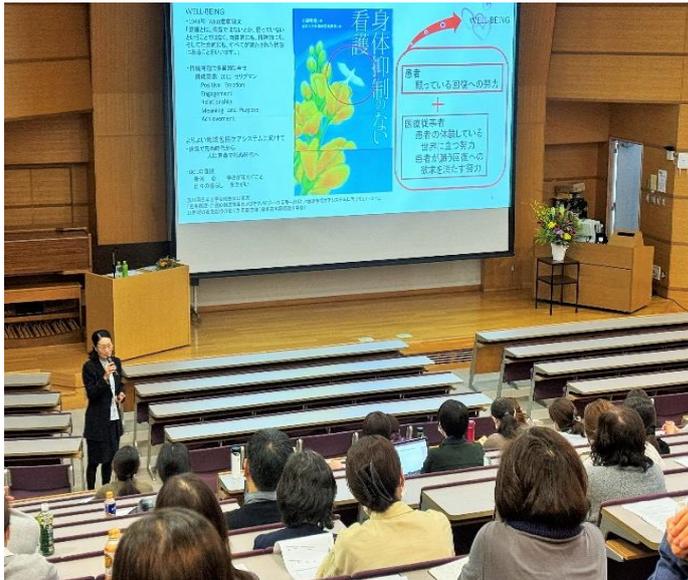
公益社団法人新潟県看護協会

うおぬま支部だより

発行

公益社団法人新潟県看護協会

うおぬま支部



看護師職能では「地域住民の健康問題についてともに考え地域に寄り添った看護を行う」という活動方針のもと、今年度は「身体抑制をしない看護」をテーマに講演会を開催しました。10月21日に石川県看護協会の小藤幹恵先生をお招きし、魚沼基幹病院と市立小出病院の認知症看護チームと共催した講演会には、111人と多数の参加がありました。

抑制しない看護を目指すため、認知症の方が尊厳を保持し希望を持って暮らすための「共生社会の実現を推進するための認知症基本法から、実際の現場で抑制ゼロに取り組んだ事例など様々な内容がありました。その中でも、あたりまえのことですが「相手を思いやる心をもつこと」「その人の生き方を知ること」が大切であり、それは自身の成長にも繋がるものだと感じました。

今後も、看護師職能では現場に活かせる研修を行っていきたいと思っています。

